

あたたかな聴き方、話し方
～教育相談の技法で～



星槎大学大学院 教育学研究科
准教授 阿部 利彦

あなたが人に相談するときは
どんな人に相談したいですか？

日常会話と相談はちがう

- 人の相談にのっているようにみえても

命令、注意、説教、忠告、講義、非難、反対
批判、同情、激励、尋問、探り、ごまかし

皆さんならどう対応しますか？

Aちゃん

「先生、私、お話するの苦手なんです」

相談を通じて

- クライアントが成長するだけでなく、先生側も変わっていく、ということが大事

教育相談は「」でもある

カウンセリングのポイント

子どもが「この人に会ってよかった」
「この人なら私のつらさをわかって
くれそうだ」と感じられる**信頼関係**を
形成する

これを

と言う

支持

Bちゃん
「Cちゃんにいじめられているの」

繰り返し

Dちゃん
「……だから、Eちゃんが嫌いなの。お話し
たくないの」

開かれた質問

- Dちゃん「E君とはもうしゃべりたくないんだ。」
- Dちゃん「E君が僕のことをばかにするから。」
- Dちゃん「僕が何もしていないのに、『バカ』とか『アホ』とか言うんだ。」

明確化

Fさん
「いつも、お母さんは僕ばかり怒るんだ。」

行動からわかる<ことば>

- 手のかかる子 →
- 気になる行動をする子 →
- 目立ちたがり屋の子 →



言葉にならない<ことば>

- うまく言えない<ことば>
- 行動で訴える<ことば>
- 身体で訴える<ことば>
- 夢の<ことば>

- 心に問題をかかえる子ほど、その行動はわかりにくくなる
- わかりにくい行動や困った行動の中に、その子の切実な心が隠れている
- 問題が生じたとき、立ち止り、情報を集め、整理していくことで、わかりにくい行動の解説の手がかりが得られる
- 子どもの資質や問題に応じた心の回復、変容の指標がある

「ありがとう」という言葉

- 人に感謝を伝える言葉
- 人の役に立つ喜びを感じさせる言葉
- 協力のすばらしさを教える言葉
- 人と人との絆を結ぶ言葉
- 自分が謙虚になれる言葉

少しだけ前に進むために

失敗しても大丈夫！という気持ちを育てる

少しだけ前に進むために

「人間最大の勇氣とは
自分が不完全であると
認めることである」
(ドライカース)